

1. 装置概要

本装置は、線材の引き抜き加工時に発生する AE を計測し、連続傷の発生を検知するシステムです。

2. 構成

- 1) AE 検査装置 AEPPM
- 2) 液晶タッチディスプレイ (内蔵)
- 3) AE センサ R15I
- 4) AE センサ取り付け治具
- 5) センサケーブル
- 6) 電源ケーブル
- 7) 取り扱い説明書

3. 仕様

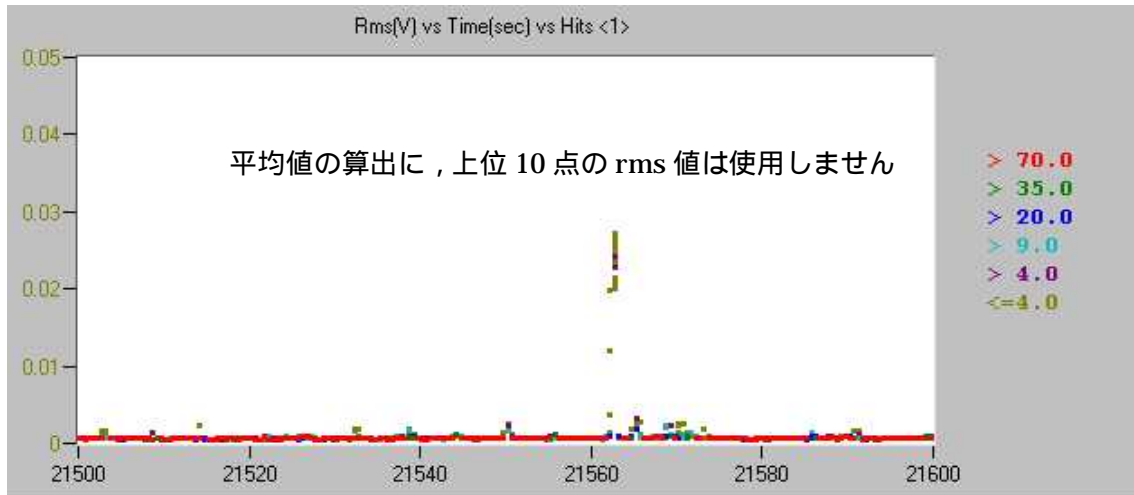
3-1 ハードウェア

- 1) システム構成：図 1 参照
- 2) CH 数：1 CH
- 3) 液晶：本体正面に埋め込み
- 4) アラーム出力：接点信号
- 5) ケーブル長：最大100m (AE センサ ~ 検査装置)
- 6) 電 源：AC100V ± 10%
- 7) 装置外観：図 2 参照

3-2 ソフトウェア

- 1) ソフトウェアの起動：電源ON により自動的に起動
- 2) 異常判定の設定：異常と判定する線材傷持続時間 (T) を画面上にて設定。
- 3) アラームレベルの設定：引き抜き開始後、タッチディスプレイ上のレベル設定ボタンを押すことにより、アラームレベル (rms 値) を自動設定。

- 4) アラームレベルの自動設定：アラームレベルは下記で設定．アラームレベルを超える AE が T 秒間発生した場合にアラームを出力．
アラームレベル = 10 秒間の rms 値の平均値 + V
(平均値の算出に、上位 10 点の rms 値は使用しません)



- 5) データ保存：波形データ（1 分間の代表 5 秒間の AE 波形）を保存可能
6) データの再生：本体ディスプレイ上で参照可能．ハードディスク等、外部メモリを接続して外部コンピュータにデータを移行することにより外部コンピュータで波形を参照可能（EXCEL にて参照）．
7) 出力：プリンターを接続することにより、画面のプリントアウトが可能．また画面を画像データとして保存し、外部コンピュータでプリントアウトすることも可能．
8) 本ソフトウェアは Windows Xp 上で作動．キーボードを接続することにより、ファイルの削除、移動等 Windows の操作が可能．

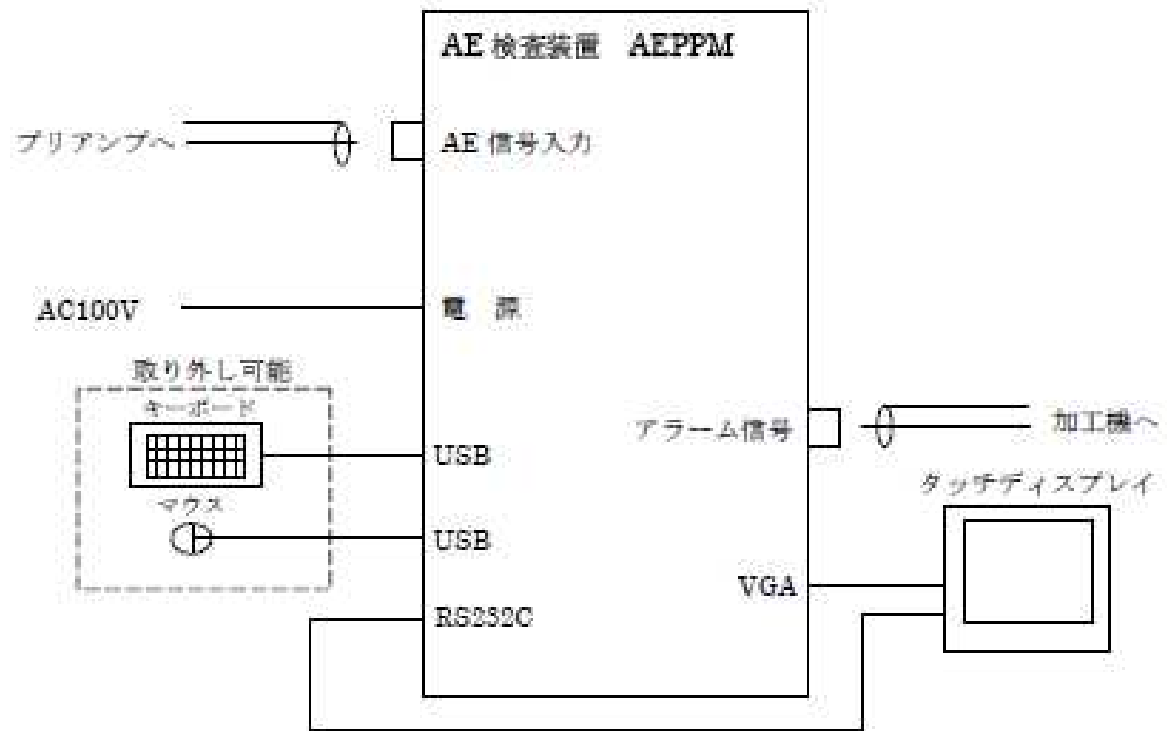


図1 システムブロック図

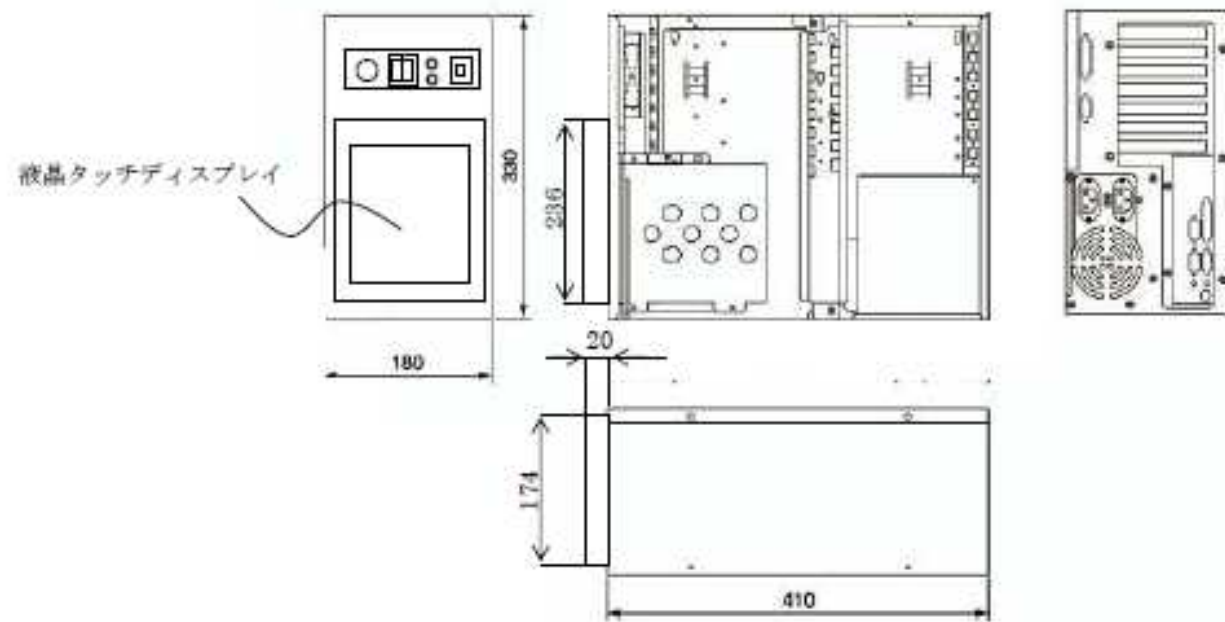


図2 装置外観